

報告事項コ

第1回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会の概要について

第1回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成28年3月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

第1回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会の概要について

平成28年3月19日
博 物 館

- 1 日 時 平成28年2月17日（水）午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 鳥取県立博物館 会議室
- 3 議 題
 - ・評価の視点、方法について
 - ・追加して調査すべき事項について
 - ・今後の進め方について
- 4 主な意見
 - ・美術館がどんな特色を持ち、誰を対象にするのが重要。その点が不明確なままでは、どこに立地しても集客は覚束ない。特に特色については、今の基本理念案に物足りなさを感じる。
→(アドバイザー)そうした意見は検討委員会でも出ており、今後検討することとしている。
 - ・対象についても、県民のための施設とするか、観光客の利用を第一に考えるかで評価も異なってくる。
→(事務局)一義的には県民のための施設だが、県外から来て貰うことも重要。どちらかだけという訳にはいかない。
 - ・県民の利用を第一としながら、今後の利用者数目標によっては、県外客の利用を相当意識して評価していくことが必要。
 - ・個々の条件、視点では評価が異なり、議論が収斂しなくなる。最後は、総合的に判断する必要がある。
 - ・全ての条件に照らせば、どの候補地も一長一短だろう。どの条件、視点に重点を置くのか整理が必要。
→(事務局)条件等について重点や優先度を具体的に設定するのは難しい。例えば、各委員に各候補地を○×△などで一旦評価していただいた上で、皆さんで協議していただき、いずれかの条件で×が付くような所は外していくような方法も考えられる。
 - ・実際問題として、○×△などの評価をしないと決めれないと思う。
 - ・河川の状況は、堤防設計時の想定災害、今後の整備計画、近隣での土砂災害の発生状況等も確認が必要である。

5 今後の対応

市町村から推薦のあった建設候補地（推薦期限は3月4日）について、3月中旬から現地調査を実施し、4月上旬に第2回専門委員会を開催して候補地の評価について協議する。

《鳥取県立美術館候補地評価等専門委員名簿》

審議会等	役職	氏名	出欠
一般社団法人鳥取県バス協会	専務理事	宇山 秀人(うやま ひでと)	出席
鳥取県ハイヤータクシー協会	会長	船越 克之(ふなこし かつゆき)	出席
鳥取県福祉のまちづくり推進協議会	会長	佐分利 育代(さぶり いくよ)	欠席
鳥取県消費生活審議会	会長代理	川井 克一(かわい よしかず)	出席
公益社団法人鳥取県観光連盟	会長	中島 守(なかしま まもる)	出席
鳥取県文化芸術振興審議会	会長	野田 邦弘(のだ くにひろ)	出席
鳥取県都市計画審議会	会長	谷本 圭志(たにもと けいし)	欠席
県政顧問(文化芸術関係)		前田 昭博(まえた あきひろ)	出席
一般社団法人鳥取県建築士会	副会長	里見 泰男(さとみ やすお)	出席
鳥取県財産評価審議会	会長	牧野 光照(まきの みつてる)	欠席
鳥取県地震防災調査研究委員会	会長	香川 敬生(かがわ たかお)	欠席
鳥取県河川委員会	会長	前野 詩朗(まえの しろう)	出席

(アドバイザー)

鳥取県美術館整備基本構想検討委員会	会長	林田 英樹(はやしだ ひでき)	出席
-------------------	----	-----------------	----

鳥取県立美術館整備基本構想 「立地条件」

1 様々な人が気楽に訪れることのできる場所

(お年寄りから子ども達まで県内外から多くの人を引き付け、年齢や言語、障がい等にかかわらず様々な人々が気楽に訪れて交流し、美術をめぐる多様な交流の結節点となる、あらゆる者に開かれた空間となるための条件)



- (1) 交通アクセスが便利・容易であること。

《視点：例示》

- ① JR 主要駅から近く、近隣に多くの路線バスが走る。
- ② 幹線道路から近く、周辺道路も整備されており、観光バスやマイカーも多数乗入れ可能
- ③ 市街地から近く、途中に急坂等はなく、徒歩や自転車によるアクセスも容易

- (2) 他の集客施設や観光施設の訪問客を誘導可能であること。

《視点：例示》

- ① 周辺住民が買物等によく行く相当規模の物販・娯楽施設等(の集積)から近い。
- ② 多くの観光客が訪れる観光集客施設(観光地)と結んで観光コースが設定可能

2 地域づくり・まちづくりと連携し易い場所

(多様な主体の参画・協働により、様々なヒト・モノ・コトを結び付けて新たな交流と発展の核を形成し、鳥取県の文化的な個性や魅力を高めて心豊かに暮らせる可能性にあふれた賑わいの拠点を創出するための条件)



- (1) 他の文化施設や教育機関と連携し易い立地であること。

《視点：例示》

- ① 来館者の相互利用が想定される文化施設に近く、一体的な文化ゾーン形成も期待
- ② 児童・生徒、学生・研究者等が利用し易い(学校、大学等に近接 or 交通アクセス良好)

- (2) 地域づくりにより貢献できる立地であること。

《視点：例示》

- ① 周辺に美術館と連携して発展可能な集客機能集積(商店街等)がある。
- ② 地域再生の核等として、地域計画等で文化施設や集客施設が必要とされている。
- ③ 市町村、地元経済団体、自治会等にも美術館と連携して地域再生を進める意思・意欲がある。

3 必要な機能確保・施設整備が極力安価で可能な場所

(鳥取県にゆかりのある美術を蓄積・継承しつつ、国内外の優れた美術の鑑賞・学習機会を提供する活動を人々のニーズに即して展開し、県民に美術の素晴らしさを体感してもらうための条件)



- (1) 必要とされる機能を備えた施設を整備可能な土地であること。

《視点：例示》

- ① 十分な広さの建物敷地や駐車場の他、適切な環境緑地や収蔵庫の増設余地等も確保可能
- ② 土地取得費用が過大でなく、土地の切り盛り、造成等にも過大な経費を必要としない。

- (2) 防災上安全な土地であること。

《視点：例示》

- ① 津波や洪水、土砂崩落、地震等により被害を被る危険が少なく、地盤堅固であること。
- ② 地盤改良、嵩上げ等に過大な経費を必要としない。

鳥取県立美術館建設候補地市町村照会項目等

項 目		内 容
基本情報	候補地名称	・〇〇跡地、〇〇周辺など広く周知され、わかりやすい名称で記載してください。
	所在地	・複数の地番を有する場合は「(代表的な地番)等」と記載してください。
	所有者	・所有者の氏名、調整状況等を記載してください。国・公有地の場合は、「国有地」、「県有地」、「〇〇市(町)有地」等と記載してください。
	敷地面積	・公簿面積のほか、実測面積も把握されている場合は、両方記載してください。
	地目	・複数の地目、用途地域が混在する場合はそれぞれの建ぺい率、容積率等を記載してください。 ・その他の制限についても、同様にお願いします。
	現況	
	用途地域の指定	
	建ぺい率	
	容積率	
	防火・準防火指定の有無	
	道路幅員	・敷地に接する道路の状況を記載してください。 (例) 東側：〇〇線 (全幅〇m・車幅〇m) 北側：〇〇線 (全幅〇m・車幅〇m) 南側：〇〇線 (全幅〇m・車幅〇m) 西側：〇〇線 (全幅〇m・車幅〇m)
土質調査データ等の有無		
史跡・埋蔵文化財の有無		
防災情報	土砂災害警戒(特別警戒)区域の指定	・土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定状況(基礎調査結果を含む)について記載してください。
	浸水想定区域の対象河川と水深度	・対象河川と水深度を記載してください。
	津波浸水予測図の水深度	・水深度を記載してください。
	地震の危険度評価	・危険度ランクを記載してください。
建設着工可能時期		・敷地に建物がある場合は、それが撤去される(撤去が可能となる)時期等を記載してください。
交通アクセス	JR 最寄り駅	・JR最寄り駅の名称、年間乗降客数及び候補地からの距離を記載してください。 (例) JR〇〇駅 年間乗降客数〇〇〇人 JR〇〇駅〇〇口から西に約〇km
	バス(JR最寄り駅からの交通手段)	・路線名、運行頻度を記載してください。 (例) 〇〇駅から〇〇バス〇〇線があり、概ね〇分に1本の割合で運行している。〇〇バス停下車徒歩〇分
	タクシー(JR最寄り駅からの時間)	(例) 〇〇駅から〇分
	自家用車(幹線道路からの道順・距離等)	(例) 〇〇道ICから国道〇〇号で約〇km。約〇分。
	来館者が利用できる駐車場(台数・利用料金)	・近隣にあつて、美術館利用者が利用できる駐車場の名称、収容台数、利用料金等を記載してく

		ださい。
周 辺 施 設	物販・娯楽施設・商店街等	・近隣に、利用客を美術館へ誘導可能な大型物販・娯楽施設や商店街等があれば、その名称、年間利用者数及び候補地からの距離を記載してください。
	観光施設（観光地）	・近くに、観光客を美術館へ誘導可能な観光施設、観光地等があれば、その名称、年間入込客数、候補地からの距離、アクセスに利用する交通手段、所要時間等を記載してください。
	文化施設・教育機関	・近くに、利用者や児童生徒・学生等にひんばんに美術館を利用して貰えるようにできる文化施設や教育機関等があれば、その名称、年間利用者数又は在籍する児童・学生等の数及び候補地からの距離を記載してください。
地域計画等における文化施設や集客施設の必要性の記載		・地域計画等にそうした記載があれば、その内容を記載してください。
地元の地域再生等への取組状況		・市町村、地元経済団体、自治体等に美術館と連携した地域再生の取組方針等があれば、その概要を記載してください。
選定理由		・候補地として選定された理由を記載してください。
県立美術館の用地とする場合の条件等		・その場合に、貴市町村が県に対して課される制約や条件、提供して頂ける便宜や協力等があればその内容について記載してください。
市町村立施設との機能分担等		・県立美術館の機能や施設設備の中に、近隣の貴市町村立施設等で分担可能なものがあれば、その内容、方法等について記載してください。

【添付資料】

① 周辺位置図

候補地の位置と JR 最寄り駅、車両による各方面からの主なアクセス経路の想定、周辺施設を記載してください。

② 候補地周辺状況、利用者動線

候補地周辺の利用者の車両動線、歩行動線を記載してください。